



第22回上田八木・金融政策サーベイ(2018年9月)

発表日：2018年9月14日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年9月11～13日
調査先	193先
回答率	91.1%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（9月18日～9月19日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回7月27日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	94	+5
引締	0	5	▲5
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	4	▲5

（Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月27日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	92	90	+2
上昇	7	8	▲1
短期金利予想DI	+6	+6	+0

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月27日)	変化幅
低下	0	2	▲2
不変	85	81	+4
上昇	15	17	▲2
2年国債金利予想DI	+15	+15	+0

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月27日)	変化幅
低下	1	4	▲3
不変	65	56	+9
上昇	34	40	▲6
10年国債金利予想DI	+33	+36	▲3

質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回7月27日)	変化幅
1. 1年未満	6%	9%	▲3%
2. 1年以上3年未満	58%	57%	+1%
3. 3年以上	36%	34%	+2%